

エコアクション21

# 環境経営レポート



2024年度（2024/04～2025/03）  
発行：2025年6月1日



## 大平洋機工株式会社

<http://www.taiheiyo-kikou.com/>

Q20170810

# 目 次

1.基本方針・環境方針	P2
2.会社概要	P3
3.取扱製品	P4
4.実施体制	P5～6
5.環境目標及びその実績	P7
6.環境活動計画の結果とその評価及び今後の取り組み	P8
7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、提訴等の有無	P9
8.代表者による全体の評価と見直しの結果	P9
9.環境活動の取組状況	P10

## 1.基本方針・環境経営方針

### 基本方針

経営者は、「我社は社会的な課題解決に貢献できる技術力、製品力を培い、経済価値と社会貢献を両立させる。」という経営理念に基づき、顧客要求事項への適合及び、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善することに対するコミットメントを含め、次の通り環境方針を定める。

### 環境経営方針

一人ひとりが環境意識を持ち、資源を大切に、環境に配慮した生産活動で持続可能な社会づくりに貢献する。その為に次の環境目標・活動計画を定める。

- (1) 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (2) 廃棄物排出量の削減に努めます。
- (3) 総排水量の削減に努めます。
- (4) 環境負荷の少ない製品を推進し環境保全に貢献します。
- (5) 化学物質の使用量削減に努めます。
- (6) 環境に優しい物品調達に配慮します。
- (7) 事業活動において環境関連法規等を遵守します。
- (8) 環境経営システムの内容を全社員に周知徹底します。
- (9) 環境改善・教育に努めます。
- (10) デジタル化による業務効率向上に努めます。

—この環境経営方針は、社内外に公表します—

制定日：2008年12月01日  
改定日：2025年06月01日  
大平洋機工株式会社  
代表取締役 前原 隆史

## 2.会社概要

- (1)事業者名及び  
代表者氏名 大平洋機工株式会社  
代表取締役 前原 隆史 (※2021年6月27日就任)
- (2)所在地 千葉県習志野市東習志野7-5-2 《本社》  
東京都中央区日本橋小伝馬町14-6 小伝馬町スクエア2階 《東京営業所》
- (3)環境管理責任者 環境管理責任者 粉体機械部 製造課 課長 下村 仁孝  
及び事務局担当者 事務局担当者 管理部 総務課 課長 笠川 孝  
の連絡先 連絡先 TEL:047-473-6191 FAX:047-478-8063
- (4)事業の内容 化学プロセスポンプ・産業機械製造、販売
- (5)事業の規模  
(2024年度) 年間売上高: 54億100万円
- |      | 本社      | 東京営業所 |
|------|---------|-------|
| 従業員数 | 171     | 11    |
| 敷地面積 | 36,876㎡ | 229㎡  |
- ※営業所は床面積を表示
- (6)事業年度 2024年度  
2024年4月1日～2025年3月31日
- (7)認証登録範囲 認証登録事業者:大平洋機工株式会社  
所在地:千葉県習志野市東習志野7-5-2  
事業活動:化学プロセスポンプ・産業機械製造・販売  
対象事業所:本社、東京営業所
- 認証登録日:2009年12月7日  
認証登録番号:0004420

### 3.取扱製品

## ～社会課題の解決に役立つ～ 環境関連装置

### ポンプ部



ワーマンポンプ

- スラリーポンプ** 用途:高濃度スラリー、ケミカルスラリー、一般化学、工場排水
- ・接液部品の材質選定により、あらゆる液体及びスラリーの輸送が可能
  - ・耐摩耗性、耐腐食性に優れた材質により長寿命なポンプです
  - ・コンパクトで大容量が得られ、効率が優れている
  - ・構造がシンプルでメンテナンスが容易

主な納入場所:化学工場、製鉄所、発電所



ヒドロスタルポンプ

- 汚泥・汚水ポンプ** 用途:下水処理、上水処理
- ・高効率、無閉塞でエネルギー省力型ポンプです
  - ・高濃度液、高粘性液で揚程低下が少ない
  - ・リミット特性を持つため、オーバーロードの心配がない
  - ・スカムや汚泥の輸送に適している

主な納入場所:食品工場、下水処理場

### 粉体機械部

- 脱水ケーキ圧送ポンプ(SCHWING PUMP/シュビングポンプ)** 用途:下水汚泥脱水ケーキのパイプ輸送
- ・ダブルシリンダ型ピストンポンプ・油圧駆動(目安輸送量:最大17m<sup>3</sup>/h)
  - ・高吐出圧力(6MPa)により、脱水ケーキの長距離パイプ輸送が可能
  - ・構成機器である油圧ポンプの油量調整により、輸送量を無段階に変更可能
  - ・滑剤注入システムとの併用により、さらに長距離輸送に対応
  - ・国内随一の導入実績に裏付けられた高い信頼性と品質
  - ・全国をカバーする当社メンテナンス体制により、安心のサポートを提供

主な納入場所:下水処理場



シュビングポンプ

- ケーキ解砕装置(ミニファイザー)** 用途:脱水ケーキの粒状化処理
- ・脱水ケーキを20mm以下の粒状に高速・連続で解砕
  - ・乾燥粉体の添加により、高含水率ケーキの粒状化にも対応
  - ・コンパクト設計により、省スペースで大量処理が可能
  - ・遺物混入(石・鉄片など)の際も機器破損を防ぐダンパーを装備

主な納入場所:浄水場



ミニファイザー

- 高速混合装置(パムアベックスミキサ)** 用途:混合、分散、解繊、加湿コーティング、乾燥
- ・独自形状のショベル羽根による浮遊拡散混合と、多段式チョップによる高速せん断・分散の2機能を備えた、水平軸回転・容器固定型の混合機
  - ・混合槽の横長設計により、混合時間を確保することで大量処理が可能な連続式に対応
  - ・混合槽を圧力容器仕様とすることで、加圧・減圧運転が可能。さらにジャケットに熱媒を使用することで300℃までの昇温に対応
  - ・多種多様なバリエーションと豊富なオプションを用意

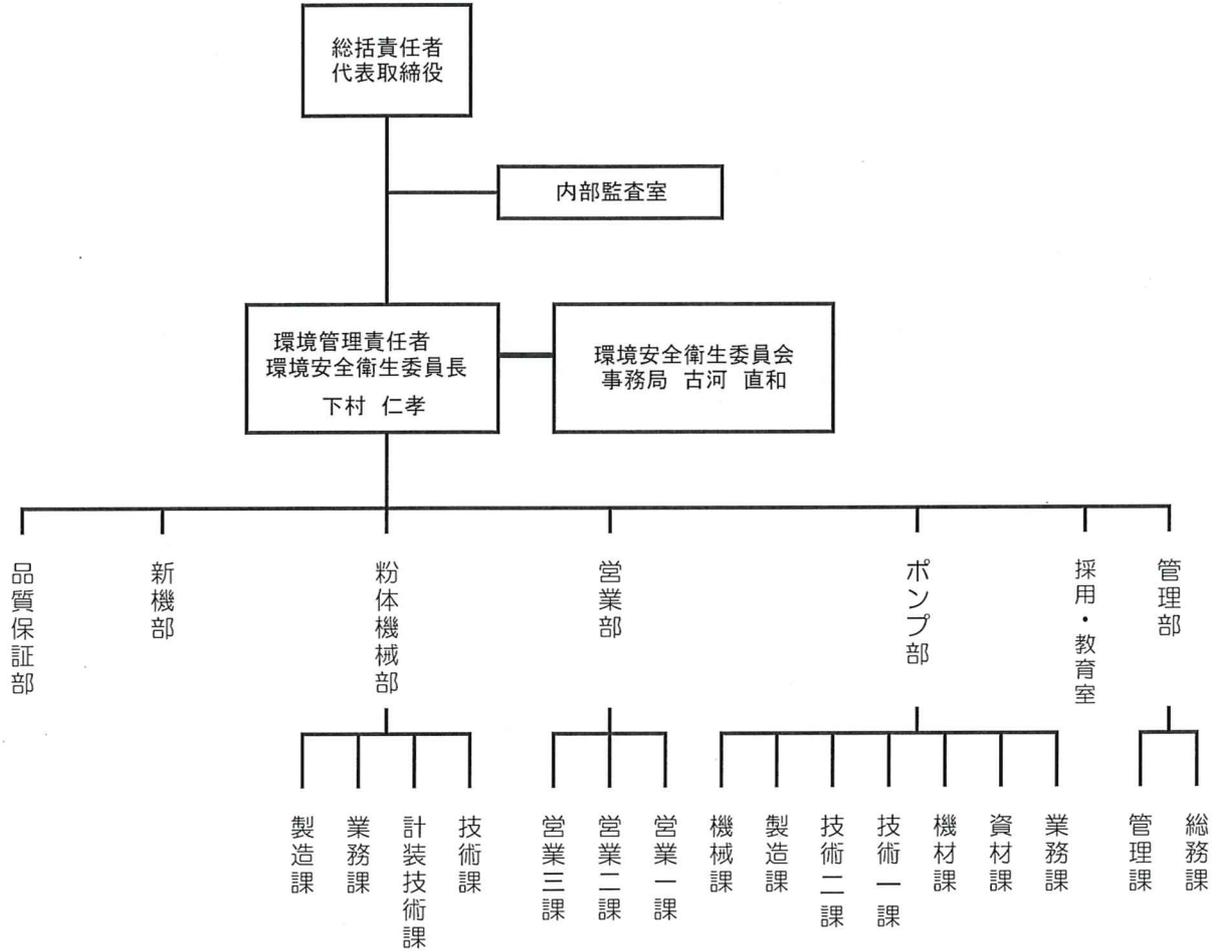
主な納入場所:化学工場、食品工場、建材メーカー



パムアベックスミキサ

## 4.実施体制

2024年10月1日



	役割・責任・権限
総括責任者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者 (環境安全衛生 委員長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果(内部監査結果)を総括責任者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理者 (環境安全衛生 委員会事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境活動の実績集計、内部監査の結果の集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
各部責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>テスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、内部監査結果の是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>
内部監査室	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針に基づいた適切な活動状態であるか第三者の立場で内部監査する。</li> <li>監査時の状態を評価し、環境安全衛生委員会に報告する。</li> <li>監査結果を代表者に報告する。</li> </ul>

## 5.環境経営目標及びその実績

項目	年度	2023年度	2024年度				2025年度	2026年度	
		基準年度	目標	実績	達成率	前年度比の達成状況	目標	目標	
①	電力消費量の削減	kWh	855,118	846,567	908,877	92.6%	△	899,788	890,790
	電力の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	463,474	458,839	492,611	92.6%	△	454,251	449,708
	ガソリン消費量の削減	L	11,999	11,879	12,715	93.0%	△	11,760	11,642
	ガソリンの二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2	27,857	27,579	29,519	93.0%	△	27,303	27,030
	灯油消費量の削減	L	9,186	9,094	9,310	97.6%	△	9,003	8,913
	灯油の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	22,891	22,662	23,200	97.6%	△	22,435	22,211
	軽油消費量の削減	L	1,632	1,616	3,179	3.3%	×	1,600	1,584
	軽油の二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	4,284	4,241	8,342	3.3%	×	4,198	4,156
	都市ガス消費量の削減	L	174	172	25	185.5%	◎	171	169
	※2都市ガスの二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	367	363	53	185.5%	◎	360	356
	二酸化炭素排出量の合計	kg-CO2	518,872	513,684	553,725	92.2%	△	548,188	542,706
②	一般廃棄物の削減	kg	29,880	29,000	46,970	38.0%	×	46,500	46,035
	一般廃棄物リサイクル率の向上	%	19%	20%以上	18%	90.0%	△	20%以上	20%以上
	産業廃棄物の削減	kg	82,607	80,000	131,327	35.8%	×	130,014	128,714
	産業廃棄物リサイクル率の向上	%	57%	60%以上	74%	123.3%	◎	60%以上	60%以上
③	水道水使用量の削減	m <sup>3</sup>	3,600	3,200	4,727	52.3%	×	4,680	3,200
④	化学物質使用量の削減	kg	159	157.41	93.51	140.6%	◎	93	92
⑤	製品における環境考慮 高効率ポンプの商社同行販売 活動(S型、M型)の向上	—	販売台数34台	販売台数20台	販売台数24台	120.0%	◎	販売台数20台	販売台数20台

※2023年度は総合事務所建設の為、拡大目標を設定した。

※2024年度は2023年度比1%削減として設定した。

※グリーン購入の取り組みが定着したため、2024年度より目標から取り下げた。

※達成状況の評価基準

目標値に対して実績値が110%以上の達成=◎

目標値に対して実績値が100%以上110%未満の達成=○

目標値に対して実績値が90%以上100%未満の未達成=△

目標値に対して実績値が90%未満の未達成=×

## 6.環境経営計画の結果とその評価及び今後の取り組み

削減項目	2024年度取り組み	達成状況※1	評価(上段)及び今後の取り組み(下段)
二酸化炭素排出量 (電力使用量)の削減	節電意識高揚(使用時以外消灯) 工数削減 雨水の利用 クレーム削減による取り組み	◎	節電意識が根付いているが、夏場の著しい暑熱や生産量増加に伴う設備の使用が増加した
	節電運動継続、冷暖房運転基準の徹底	◎	総務課より換気のアナウンスを発信し、都度換気を実施。継続して消費電力を抑えるよう努める。
二酸化炭素排出量 (灯油使用量)の削減	ウォームビズ期間の延長	◎	継続して行う。
	隙間風対策などで効率アップで消費量削減	◎	3S活動とリンクし、隙間風対策などの暖房の他、工場内の寒さ対策の検討を継続する。
二酸化炭素排出量 (自動車燃料使用量)の削減	エコドライブ推進(急発進、急ブレーキの禁止、タイヤ空気圧のチェック)	△	エコドライブ啓蒙活動は全社員へ周知を図っている。ハイブリッド車への切り替えを行っていく。
	教育によりエコドライブの普及を推進する	◎	次年度以降も同様の活動を継続し、エコドライブ意識の定着化を図る。
	社有車の新旧入替(1台・年)	◎	社有車の入れ替えを2台実施した。
二酸化炭素排出量 (都市ガス)の削減	継続監視	◎	総合事務所移転にあたり、ガスそのものの使用を廃止した。
	湯沸し低温度設定。(夏季off)	◎	
一般廃棄物排出量の削減	排出根拠の把握	△	事務所の移転に伴い排出量が増加した。
	リサイクル率の目標達成	◎	リサイクル活動の推進を継続する。
産業廃棄物排出量の削減	排出根拠の把握	◎	事務所の移転に伴い増加した。しかし社内での分別意識は根付いており、リサイクル率は増加傾向にある。
	リサイクル率の目標達成	◎	排出量の多い木くず・鉄くずのリサイクルができていたため達成した。
水資源使用量の削減	受水槽や配管の老朽化対策工事計画節水チェックを継続させる。雨水タンクの設置による雨水の有効活用。	◎	生産数の増加や漏水があったため際に増加した。 節水・漏水箇所の早期発見・補修を継続する。
化学物質の管理	化学物質の総量把握・減量の模索	◎	生産活動の増加に伴い当該塗料の使用機会が多かった。
	使用量の削減	◎	化学物質の総量把握・減量活動を継続する。
製品における環境考慮	高効率ポンプの商社同行販売活動	◎	ポンプおよび他の環境関連製品のPRと併せて販促活動を継続していく。
	環境関連製品の売上向上	◎	今後積極的な拡販活動を継続していく。

※ 軽油は臨時発電用であり継続監視として評価除外

※ 達成状況基準:

実施済=◎

実施しているが、努力が必要=△

未実施=×

## 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、提訴等の有無

企業の活動は様々な法律や条例により規制されています。中でも環境関連は廃棄物関連が複雑ですが、インターネットを利用し法改正などの最新情報を入手しています。そして毎年3月に法令等の遵守状況を確認しています。

主な適用される法規制	適用される事項	遵守状況
廃棄物処理法	管理者選任、保守基準、委託基準 産業廃棄物管理票交付状況報告	○
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請 危険物保管の指定数量以上の危険物取扱者の届出 危険物貯蔵庫の設置	○
工場立地法	届出内容に変更があった場合に再届出	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンのフロン漏れ点検(3か月に1回)	○
PRTR法	排出量、移動量の届出	○
浄化槽法	清掃、保守点検、検査の実施	○
水質汚濁防止法	排水処理設備の管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、提訴等も過去5年間ありませんでした。

## 8.代表者による全体評価と見直しの結果

2024年度の活動を振り返り、年度内の環境方針及び環境目標・計画において、特に大きな変化はありませんでしたが、業務体制の変化等により電力量が増加し目標達成には至りませんでした。活動としては不要照明消灯や働き方改革により時間外労働削減を継続しており、消費電力削減を目指しておりましたが、今後は消費電力を抑制する新たな改善案を考え環境に貢献できる企業として本業及び活動に尽力いたします。

## 9.環境活動状況

クリーンタイム（月一回）

構内の清掃



不要照明の消灯



昼休み事務所照明の消灯

